

1 【オープニング】

2 MC :

3 本日のゲストは、水戸市出身で、看護師の、中西京子（なかにしきょうこ）
4 さんです。

5 中西さんは、水戸市の副都心、赤塚にあります「水府病院」で働く現役の看
6 護師さんです。

7 中西さんは、「いい出会いで健康になれる！」を合言葉に、新時代の医療・健
8 康増進コンセプト「脳響袋操（のうきょうたいそう）」を提唱し、出会いづくり
9 を通して、病院、医療が地域経済に貢献する活動に取り組んでいる方です。

10 茨城発のホットな話題になっているあの、サトイモの新しい食べ方「脳響水
11 （のうきょうすい）」の考案者としても知られます。

12 本日はこの「地域おこしの看護師さん」、中西京子さんに、脳響水のお話をお
13 聞きします。

14 中西さん、よろしくお願ひします。

15 NOKYOKO :

16 はい。よろしくお願ひします。

17 _____

1 【プロフィール紹介】

2 MC :

3 病院で働く医療従事者、看護師さんが地域経済に貢献するというのは斬新で
4 ユニークな取り組みだと思いますが、そもそも中西さんはなぜ看護師になった
5 んですか？

6 NOKYOKO :

7 はい。今では共働きが当たり前のような時代になっていますが、女性も経済
8 的に自立しなければならぬと考え、看護師という職業を選択しました。

9 MC :

10 だから、経済なんですね。

11 NOKYOKO :

12 はい。そうなんです。病院が健康な人々を含めた、地域住民のみなさんの日
13 常に支えられているのなら、病院が地域経済の発展に貢献するのは当たり前だ
14 というごく自然な発想です。今のように、経済状況が厳しい折はなおさらです。
15 「病院力を、地域力に。」という発想の転換が強く求められているんじゃないか
16 と思うんです。

17 MC :

18 「経済」って言うと「なんだか難しい」ってイメージがありますよね。

19 NOKYOKO :

20 でしたら、経済を「人と人の出会い」と考えたらどうでしょう？

21 「出会いは学びであり生きること」という言葉がありますが、経済活動もま
22 た、人が人らしく生るための営みなんだと思います。

23 残念なことですが、出会いがますます少なくなっているのが今の時代ですね。

24 MC :

25 中西さんは現役の看護師さんですね。

26 NOKYOKO :

27 はい。この写真は私の職場です。

1 私は水戸協同病院で30年間務めた後、現場をいったん離れ、看護師のリクル
2 ートや離職防止、予防医療の普及活動を担当していましたから、4年間のブラ
3 ンクがあったんです。ですから、現場復帰には相当な勇気がいりましたね。

4 院長先生をはじめ、職場の仲間たちに支えられ、また、私の活動を応援して
5 いただいているみなさん力で、「今の私」があるんです。

6 MC :

7 中西さんの趣味は「ガーデニング」とお聞きしていますが。

8 NOKYOKO :

9 はい。これは自宅の庭の写真です。一人でいる時間を作ることも必要です。
10 ガーデニングは気分転換にはもってこいですね。

11 プチトマト、ハーブといった収穫が楽しめる野菜作りも大好きです。

12 実話うちで採れる三つ葉は、3年前にスーパーで買ってきた根の付いた三つ
13 葉をプランターに植えたもので、「根三つ葉」っていうんですけど、それを大事
14 に育てたものです。

15 「根三つ葉根性」っていわれるんですけど(笑)。

16 MC :

17 はい。

18 「根三つ葉根性のどこが悪い!？」って感じですか。(笑)

19 ところで、中西さんにはもう一つ「NOKYOKO(のうきょうこ)」というお名
20 前があるんですよね。

21 NOKYOKO :

22 はい。私の愛称、ハンドルネームです。

23 今までの泣き虫で弱虫の「京子」ではないというのと、ご紹介いただいた脳
24 響袋操の「のうきょう」の語呂合わせですね。

25 MC :

26 なるほど。

27 「マーク」もあるんですよね。

28 NOKYOKO :

1 はい。この NOKYOKO マークですね。

2 私がモデルなんですが、似ていますか？

3 MC :

4 はい (笑)

5 ※4 分割のフリップを用意します。水府病院の手術室と自宅の庭の写真 2 枚

6 と「NOKYOKO」の文字、NOKYOKO のイラストです。

7 _____